

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06209
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学	開催方法 (キャンパス・施設)	<input checked="" type="checkbox"/> 対面 (広島キャンパス) <input type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	近年の環境変化から見える異変の兆候					
	学問分野	番号	32	名称	自然科学系 (理学)	
3. 担当教員	五味 正志 生物資源科学部 生命環境学科環境科学コース 教授 西本 潤 生物資源科学部 生命環境学科環境科学コース 准教授					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和5年7月29日 (土) 9時00分 ~ 12時10分 (90分×2回)					
個別開講日	1回目 /	2回目 /	3回目 /	4回目 /	5回目 /	6回目 /
5. 募集定員	20 人					
6. 科目内容・授業計画	<p>【科目内容】</p> <p>近年、人為的な要因による環境問題が地球規模で発生しており、気候変動や環境汚染などさまざまな問題があります。このような環境問題を解決するためには、現状を正確に認識することが必要不可欠です。本公開講座では、温暖化が生物に与える影響と化学物質が沿岸海域に与える影響について取り上げます。</p> <p>【授業計画】</p> <p>(1時限目 9:00~10:30 五味 正志)</p> <p>現在、地球温暖化が急速に進行していますが、2021年にIPCC(気候変動に関する政府間パネル)が提出した第6次評価報告書では、人為的な温室効果ガスの排出が原因であることが確実であるとされています。この温暖化の進行により気候変動や環境変化が引き起こされており、そのことが原因で多くの生物が影響を受けていることが明らかになってきています。この授業では昆虫を中心として温暖化が生物に与えている影響について、具体的な例を紹介しながら説明していきたいと思ひます。</p> <p>(2時限目 10:40~12:10 西本 潤)</p> <p>海には様々な生き物がおり、その一部を人間は捕獲あるいは採取して食料としています。その海へ様々な化学物質が流れ込んでいます。化学物質と聞くと生物へ悪い影響を及ぼすものと考えられるかもしれませんが、我々の周りにはほとんどすべて化学物質であり、食料も化学物質からできています。化学物質は化学反応により別の化学物質へと変化することもあります。その反応は環境変化によって引き起こされた場合もあり、生成した化学物質が環境に悪影響を与える場合もあります。この授業では化学物質に焦点を当てて、環境と化学のかかわりについて、沿岸海域を中心にして、説明していきたいと思ひます。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件※1 <input checked="" type="checkbox"/> あり・ <input type="checkbox"/> ない	① 最少開講人数 (5 人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日: 6月末まで					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン(同時・録画)の使用ソフト、受講時の注意など 特になし					
11. 開設大学への交通手段	http://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。
 コロナ禍の影響により、対面講座の不開講・休講になる場合があります。